

鎌倉・稲村ヶ崎と極楽寺の歴史ロマン

※教室講座

講師 古街道研究家 宮田 太郎

京都と鎌倉を結ぶ鎌倉街道「京・鎌倉往還」は最も通行が多かった大街道であったはずで、稲村ヶ崎は正にその重要視されたルートの入口。七つ口の一つに「極楽寺の切通し」に至るまでの様々な歴史ロマンのお話をいたします。この付近は鎌倉時代に慈善事業を積極的に行った極楽寺の忍性ゆかりの地でもあり、京都から鎌倉へやって来た貴族や商人、僧侶たちの鎌倉入りの直前の休息場所でもありました。

紀行文「十六夜日記」の著者で知られる京都冷泉家の阿仏尼が住んだ月影谷戸のこと、毎日参詣していた地藏仏のお堂のこと、新田義貞鎌倉攻めの真実の進攻ルートなどを検証し、砂鉄の浜でもある稲村ヶ崎のあまり知られていない存在意義も考えていきたいと思えます。(講師記)

■日 時 2018年 9月 1日 1回
土曜 15:30 ~ 17:30

■受講料 会員 3,510円 一般(入会不要) 4,158円

※入会金は5,400円、3年間有効。70歳以上は入会金無料(要証明書)。

〈講師紹介〉 みやた・たろう 古街道研究家、古代遺跡研究家 総務省地域力創造アドバイザー、歴史古街道団団長、(株)歴史シアター・ジャパン代表。古街道遺跡地帯である多摩丘陵を手始めに関東・全国・南西諸島、アジア諸国を結ぶ道、古代から中世の未知の遺跡を独自の手法で実地踏査。「旅」や「現地探索ウォーク」の形で紹介。鎌倉街道や中世の山城、古代遺跡など数多くの遺跡を発見。現在NHKラジオ深夜便「いにしへの道を訪ねて」レギュラー出演中。「すべての文化と遺跡は“道”をたどって誕生した」が信念。考古学的手法を加えた現地踏査手法『古街道学』を提唱。日本フットパス協会理事として遺跡の保護と活用、「道と遺跡と歴史ストーリー」を活かした地域活性で活躍中。



*講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合は、講座を延期または中止する場合があります。
*手続きの際にご記入いただく皆様の個人情報は受講連絡やお知らせ・講座企画の内部資料として使わせていただきます。

お申込み・お問合せは朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾/湘南教室まで

【電話】0466-24-2255 10:00~18:00(日・祝除く)

【インターネット】<http://www.asahiculture.jp/shonan>

【窓口】ルミネ藤沢店 9階 9:30~19:00(日・祝除く)